

# 土砂災害対策を早く

## 行政に申し入れました



住吉台がけ崩れの聞きとり・申し入れ。東部建設事務所にて。  
(左手前から西市議、きだ。9月9日)

この間の豪雨・土砂災害、御嶽山噴火で犠牲になられた方がたのご冥福を心からお祈りいたします。

8月に日本列島を襲った台風や豪雨により、広島市北部や、兵庫県では丹波市で大きな被害がもたらされました。

東灘区でも8月10日に住吉台でがけ崩れが起き、通学路でバスが通る道路に巨石が転落しました。

きだ結は直後から管轄する神戸市東部建設事務所に原因や状況を聞き取り、9月9日には西市議とともに同事務所に対策を申し入れました。

### 住吉台の道路に巨石が転落

がけ崩れ現場は、一面にコンクリートを吹き付けており、その上を落石防止ネットで覆っていました。



▶がけ崩れ現場  
(8月10日)▼



しかし、2日間続いた豪雨のため、頂上部の吹き付けコンクリートの内側で土砂崩れが発生してコンクリートを壊し、ネットを破って巨石や土砂が落下した模様です。現場周辺は同じコンクリート吹き付けの急斜面が続いています。

きだ結と西市議は「子どもたちと住民が毎日使う道路。二度と起きないように対策を」と訴え、原因究明とともに、現場周辺をはじめ管轄地で防災対策の強化を求めました。

### 渦森台北部でも

同じ頃、渦森台北側の山の中腹でも土砂崩れがありました。4年前にも起きた場所です。

こちらも10月3日、管轄する六甲砂防事務所(国)に住民の皆さんとともに安全対策を要望。「この箇所の土砂は谷に流れ込むため住宅地に影響はありません」とのことですが、「住民の心配をなくすためにも、森林の保全のためにも、土砂崩れが



起きないよう急いで対策を」と求めました。



住民の皆さんと現場を視察しながら、六甲砂防事務所東六甲出張所長に要望

(10月3日)

### 県議会で追及します

六甲山は広島市北部と同じで、花崗岩でできており地表はそれが風化した崩れやすい「まさ土」が堆積しているといわれています。

神戸市民をはじめ周辺住民にとって、六甲山山麓の土砂災害対策は急務。きだ結は、10月7日からの県議会決算委員会で取り上げる予定です。